

令和4年度事業報告

令和4年4月 1日から

令和5年3月31日まで

深谷市シルバー人材センターは、「自主・自立、共同・共助」の基本理念のもと、シニアの豊かな知識・経験・技能・技術を生かした就業と社会参加の場を提供するとともに、当センターの指針となる「第3次中期計画」に基づき、各種事業に取り組んでまいりました。

今年度の主な取り組みは、「組織の体力、知力の強化」を目的として、入会説明会の説明内容等の見直し、入会及び就業募集ポスターやチラシの作成、産業祭でのPR活動等を、「就業開拓、適正就業」を目的として、シルバー派遣事業の拡大、商工会議所や商工会に対する就業募集チラシの作成、接遇研修の開催、また「安全就業」を目的として、普通救命AED講習会、交通安全講習会、安全就業講習会、フレイル予防教室の開催など、様々な事業に取り組んでまいりました。

事業実績は、請負・委任業務では、契約金額4億9,529万1,180円（前年度比1.3%減）、就業延人数91,126人（前年度比4.8%減）、年間就業率81.7%（前年度比0.5%増）となり、未だ新型コロナウイルス感染症拡大の影響等による、受注件数の減少傾向は続いております。労働者派遣事業では、民間事業者からの新規受注が堅調だったことから、契約金額4,443万2,532円（前年度比10.1%増）、就業延人数7,862人（前年度比8.7%増）と実績を上げていますが、請負・委任、派遣事業の合計は契約金額5億3,972万3,712円（前年度比0.4%減）、就業延人数98,988人（前年度比3.9%減）と相変わらず厳しい状況が続いております。

今後も引き続き、新たな就業先の開拓や会員数の増加及び就業率の向上を目指し、魅力あるシルバー人材センター運営に努めてまいります。